

2008年12月期 決算説明会

2009年2月25日
日本ライオン株式会社

CONTENTS

- ◆ 決算概要
- ◆ 2009年度業績見通し
- ◆ 今後の事業展開

決算概要

連結業績

(単位:百万円)

	2007年	2008年	増減	前年比(%)
売上高	49,975	37,241	△12,734	△25.5
売上総利益	3,130	2,442	△688	△22.0
売上総利益率(%)	6.2	6.6	0.4	
販売費及び一般管理費	2,867	2,830	△37	△1.3
営業利益/損失	263	△387	△650	—
営業利益率(%)	0.5	△1.0	△1.5	
経常利益/損失	312	△738	△1,050	—
経常利益率(%)	0.6	△1.9	△2.5	
当期純利益/損失	140	△2,955	△3,095	—
純利益率(%)	0.3	△7.9	△8.2	
一株当り 当期純利益/損失(円)	21.40	△340.13		

連結業績 ～要因分析～

(単位:百万円)

	2007年	2008年	要因
売上高	49,975	37,241	
売上総利益	3,130	2,442	
売上総利益率(%)	6.2	6.6	
販売費及び一般管理費	2,867	2,830	個別貸倒引当金395百万円計上 経費削減 前年比 △432
営業利益/損失	263	△387	引当金計上除くと黒字
営業外損益	49	△351	為替差損 △109
経常利益/損失	312	△738	
特別損益	△15	△1,999	通貨スワップ解約損 △1,955 ナノテックス株売却 △65
法人税等	△156	△387	繰延税金資産の取崩し △190
当期純利益/損失	140	△2,955	

連結業績 ～単体・子会社別分析～

(単位:百万円)

	2007年	2008年	増減	前年比(%)	
連結全体	売上高	49,975	37,241	△12,734	△25.5
	売上総利益	3,130	2,442	△688	△22.0
	販売管理費	2,867	2,830	△37	△1.3
	営業利益	263	△387	△650	—
日本(単体)	売上高	35,678	27,262	△8,416	△23.6
	売上総利益	2,307	1,799	△508	△22.0
	販売管理費	2,267	2,312	45	2.0
	営業利益	40	△513	△553	—
子会社合計	売上高	15,301	10,863	△4,438	△29.0
	売上総利益	862	706	△156	△18.1
	販売管理費	636	579	△57	△9.0
	営業利益	225	128	△97	△43.1

* 相殺勘定は含んでおりません

連結業績 ～事業セグメント別分析～

(単位:百万円)

セグメント名		2007年	2008年	増減	前年比(%)
情報通信	売上高	12,706	10,630	△2,076	△16.3
	売上総利益	898	847	△51	△5.7
一般電子部品	売上高	14,387	13,223	△1,164	△8.1
	売上総利益	1,259	945	△314	△24.9
半導体	売上高	1,889	1,224	△665	△35.2
	売上総利益	175	150	△25	△14.3
EMS	売上高	20,616	11,449	△9,167	△44.5
	売上総利益	701	352	△349	△49.8

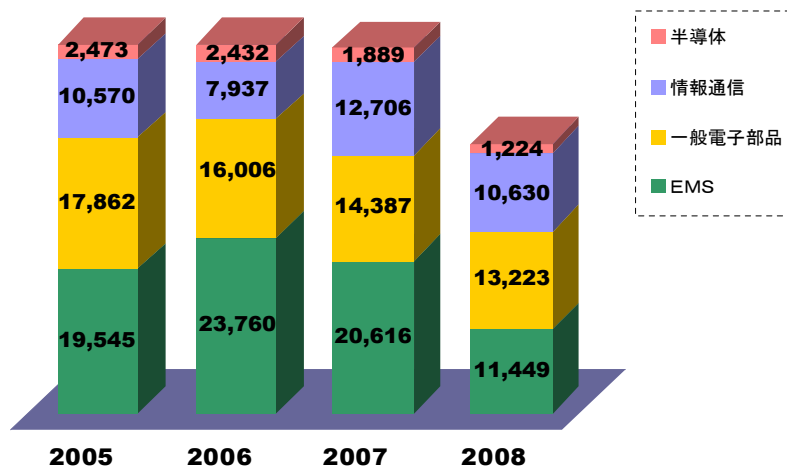
<取扱製商品>

- 情報通信 : コンタクトラバー、スイッチ電源、モニター、DVD
 一般電子部品 : LED、発光ダイオード、コンタクト・イメージ・センサー、レンズ及び化合物半導体等
 半導体 : リードフレーム
 EMS : プリンター、MFP

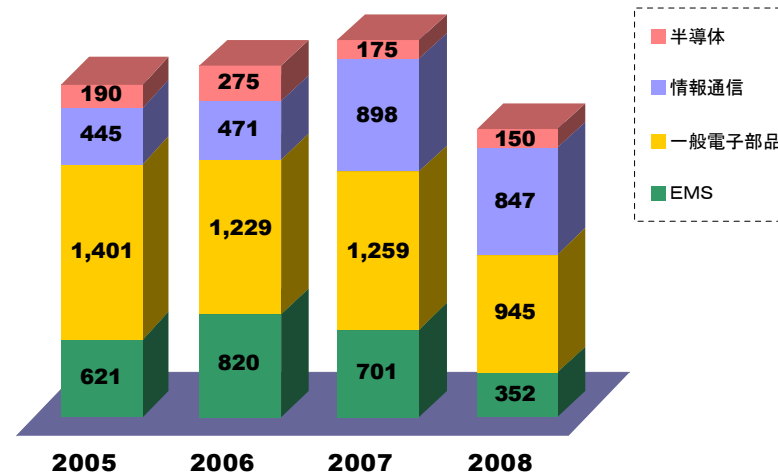
※上記には、車載関連商品、センサー、指紋認証装置等は含まれておりません。

連結業績 ～事業セグメント別分析～

セグメント別 売上高推移



セグメント別 売上総利益推移



(単位:百万円)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

指 標	2007年	2008年	増 減
有利子負債	5,014	4,930	△84
D/Eレシオ (倍)	1.70	3.85	2.15
有利子負債依存比率(%)	30.6	41.1	10.5
流動資産	15,024	10,803	△4,221
固定資産・投資等	1,348	1,204	△144
資産合計	16,372	12,008	△4,364
流動負債	10,365	8,136	△2,229
固定負債	3,056	2,592	△464
負債合計	13,422	10,728	△2,694
純資産合計	2,949	1,279	△1,670
負債純資産合計	16,372	12,008	△4,364

連結キャッシュ・フロー計算書／財務指標

【 連結キャッシュ・フロー計算書 】

(単位:百万円)

	2007年	2008年	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	602	△2,881	△3,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△433	29	462
財務活動によるキャッシュ・フロー	433	1,159	726

【 財務指標 】

	2007年	2008年	増減
自己資本比率(%)	18.0	10.4	△7.6
時価ベースの自己資本比率(%)	17.3	13.5	△3.8



2009年度業績見通し



連結業績見通し

(単位:百万円)

	2008年実績	2009年見通	増減	前年比(%)
売上高	37,241	23,921	△13,320	△35.8
売上総利益	2,442	1,939	△503	△20.5
売上総利益率(%)	6.6	8.1	1.5	—
販売費及び一般管理費	2,830	1,823	△1,007	△35.6
営業利益	△387	116	503	—
営業利益率(%)	△1.0	0.5	1.5	—
経常利益	△738	126	864	—
経常利益率(%)	△1.9	0.5	2.4	—
当期純利益	△2,955	126	3,081	—
純利益率(%)	△7.9	0.5	8.4	—
一株当り 当期純利益(円)	△340.13	10.12		

連結業績見通し ～単体・子会社別～

(単位:百万円)

	2008年実績	2009年見通	増減	前年比(%)	
連結全体	売上高	37,241	23,921	△13,320	△35.8
	売上総利益	2,442	1,939	△503	△20.6
	販売管理費	2,830	1,823	△1,007	△35.6
	営業利益	△387	116	503	—
日本(単体)	売上高	27,262	17,594	△9,668	△35.5
	売上総利益	1,799	1,490	△309	△17.2
	販売管理費	2,312	1,511	△801	△34.6
	営業利益	△513	△21	492	—
子会社合計	売上高	10,863	6,326	△4,537	△41.8
	売上総利益	706	449	△257	△36.4
	販売管理費	579	312	△267	△46.1
	営業利益	128	137	9	7.0

今後の事業展開

「選択」と「集中」

今後の事業展開 : 経費削減プラン

1. 非効率拠点の縮小

①. 大分事務所

2009年1月末閉鎖（九州営業所へ統合）

②. 上海現地法人

2009年2月末までに外向社員は0となり、100%現地化

③. シンガポール現地法人

規模縮小、オフィス移転予定

④. 韓国現地法人

2009年3月末を目処に清算の予定

⑤. タイ現地法人

2009年1月に外向社員は0となり、100%現地化

今後の事業展開：経費削減プラン

2. 経費予算大幅圧縮(日本単体)

目標(Target): 前年比 Δ 30%

- ①. ロジスティック(保険料・倉庫料・運送料)前年比 Δ 35%
保険料はライトグループの包括保険に適用
利用倉庫について、費用を再見積もり調査
- ②. 出張旅費 前年比 Δ 40%
インターネット会議の積極的活用
- ③. IT関連費用 前年比 Δ 20%
システムインフラ及びメンテナンスコストの見直し
- ④. オフィス賃借料等の圧縮

今後の事業展開：LED照明

■3つの切り口でLED照明市場を開拓中

蛍光灯型LED照明

- 開発・生産・販売は国内のパートナー企業
- 当社開発照明用白色LEDを実装
- 高演色性
- 独創的な放熱設計

自社開発 照明用白色LED

- 開発・試作は日本
- 量産は当社フィリピン自社工場
- 高演色性
- 顧客ニーズに柔軟に対応

台湾Leotek社製 LED照明

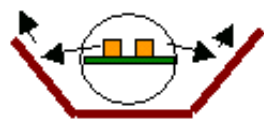
- Leotek社=Lite-Onグループ企業
- 北米、台湾での豊富な納入実績
- 主要製品 街路灯 ライトバー



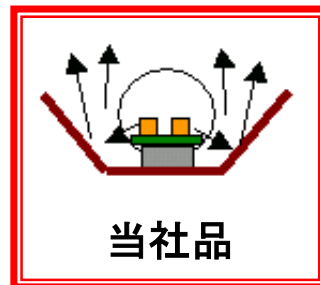
今後の事業展開：LED照明

■40W型LED蛍光灯の特徴

- 高演色性
 - 本来の色を忠実に再現
 - 他社品(青みの強い白)に対して温かみのある白色を実現
- 放熱設計
 - 基板からヒートシンクまでのピッチを最小化し放熱効率を向上。
 - 放熱効率の向上=照明構成部品の劣化を回避=明るさを維持



一般的な設計



当社品

<当社がターゲットとするLED照明市場の一例>

コンビニ

オフィス

看板・案内板

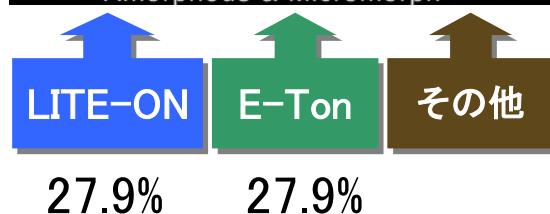
公共施設

工場

今後の事業展開：太陽エネルギー事業

■太陽光パネル(PV)

- ・ AURIA社製薄膜シリコンモジュールの取扱いを開始
- ・ AURIA社の概要



設立	: 2007年
資本金	: US\$120百万
大株主	: E-Ton Solar (台湾の結晶シリコンモジュール製造大手) LITE-ON Technology (当社親会社)
所在地	: 台湾(台南サイエンスパーク)
生産品目	: 薄膜シリコンモジュール アモルファス(a-Si) および 微結晶タンデムシリコン(uc-Si)
生産計画	: 60MW (2009年)

- ・ 今後の予定
 - 評価試験、および認証の取得
 - モジュール(パネル)の供給からLITE-ONの強みである電源ソリューションを絡めたシステム供給への展開

まとめ(Focus)

- 主要顧客への選択と集中
 - 既存プロダクトの再構築
 - 不採算事業からの撤退
- 徹底的な経費削減
- LED照明・太陽光発電等のGreen Energyへの注力



LITEON
<http://www.lite-on.co.jp/>

〔免責事項〕

本資料は、決算の業績及び事業に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容における将来の業績予想に関する情報は、本資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されており、その予想の達成や計画の実現を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。